

分科会 1

「ユニバーサルデザイン」 「共生」

【まちづくりの方向性】
 ユニバーサルデザインのまちづくり
 ※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

特定の誰かのためにバリアフリーにする、という考え方でなく、最も困っている人にとってすごしやすいまち、誰にとっても生活しやすいまちになる、ということを通認識にする
 ※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

地域のニーズを掘り起こし、世代や障害のある無しを超えて「こうなったらいいな」ということを出し合い、共生社会にむけて取り組んでいく
 ※今後どうすべきか

ため。
 する。

【まちづくりの方向性】
 ユニバーサルデザイン
 ※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

誰もが公園で過ごしやすいとする
 ※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

同じような公園ばかりを作るのではなく、様々なタイプの公園を整備
 ※今後どうすべきか

ため。
 する。

「公園」でも良いか？

【まちづくりの方向性】
 ユニバーサルデザイン
 ※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

誰もが安心して散歩できるようにする
 ※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

多摩川河川敷の道を拡充し、歩行者と自転車とで分け、車いす・ベビーカーでも利用できるように
 ※今後どうすべきか

ため。
 する。

【まちづくりの方向性】
 ユニバーサルデザイン
 ※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

誰もが安心して市内を移動できるようにする
 ※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

歩道の整備、拡張及び自転車専用道の整備を促進
 ※今後どうすべきか

ため。
 する。

【まちづくりの方向性】
 ・誰もが楽しく、安心して住むことができるまちづくり
 ・共に生き、共に支え合うまちづくり
 【基本的取組】
 ・車いすやベビーカーも安心して利用できるよう、歩道や道路、様々なタイプの公園の整備を促進する。
 ・地域のニーズを掘り起こし、ネガティブなことも「資源」として考えることでまちづくりに活かしていく。
 (≡「共生社会を充実させるため、最も困っている人にとって生活しやすいまちづくりを共通認識とする。」でも通るか?)

防災の観点を入れるか？

【まちづくりの方向性】
居場所
※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

地域**共生社会**を目指す
※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

地域に**全世代型の居場所**を
拡充
※今後どうすべきか

ため、
する。

【まちづくりの方向性】
災害時に助け合えるためには日頃の地域での交
流が大切
※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

災害時要配慮者（高齢者、障害者、乳幼児、妊産
婦）のサポートには、日頃できていないことは災害
時できない
※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

平時から地域の人どうしが知り合える機会をつくり、
日常的に助け合う事で要配慮者がどんな支援を必要
としているかを知って、そうした人が避難所等で困
らずにすごせる方法を皆で一緒に考える
※今後どうすべきか

ため、
する。

ニーズにあった通いの場・交流の場
※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

地域住民同士の**つながり**をもつ
※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

多世代**交流の拠点**の拡充
※今後どうすべきか

ため、
する。

【まちづくりの方向性】
誰もが知り合えるような地域・つながり
※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

共生社会にむけ、障害のあるなし、世代を超えて誰
もが参加しやすい**交流の場**や**居場所**が必要
※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

高齢、障害、子どもと**居場所**をわけて**限定する**ので
なく、誰でもこられる居場所をつくり、そこで多世
代が自然に**交流**する。
※今後どうすべきか

ため、
する。

【まちづくりの方向性】
福祉全般
※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

孤立する個人・世帯を
生み出さない
※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

現存するハード面及びソフト面での支
援を見直し、他機関連携を図るように
※今後どうすべきか

ため、
する。

【まちづくりの方向性】
商業・医療・子育て（福祉）施設併設の場
※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

孤立する市民が出ないよう、
それぞれが所属する**場**、
つながりがある**場**を作る
※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

様々な人が興味を持てる・参加しやす
いイベント等を実施
※今後どうすべきか

ため、
する。

- 【まちづくりの方向性】
- ・ **誰もが自由に交流**できる、大きく広い「窓口（間口？）」を持った**居場所**づくり
- ・ 誰もが「元気」になり、「元気」の力が連鎖する**居場所**づくり

- 【基本的取組】
- ・ 商業、医療、子育て、福祉等の様々なニーズに対応した**魅力ある場**を作るため、**居場所のテーマをあえて掲げない**ようにする。
- ・ **孤立**する市民を生み出さないため、様々な世代の人、**様々なニーズの人が興味を持てる**、自由に楽しく参加しやすいイベントの実施を促進する。

【まちづくりの方向性】

子どもを育てやすい環境整備

※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

あらゆる環境の親が安心して子どもを育てられるようにする

※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

公共・民間の連携した施設整備・サービスの展開

※今後どうすべきか

ため、

する。

【まちづくりの方向性】

行政と法人等と連携した子育て支援

※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

複合的な問題を抱える親への切れ目ない支援の

※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

地域に存在する資源・人材の開拓・活用

※今後どうすべきか

ため、

する。

【まちづくりの方向性】

子どもを育てやすい公的サービス

※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

安心して子を産み、育てられるような基盤を作る

※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

公的サービスの充実するとともに、必要な人に必要な支援（手当の支給、相談できる場の提供等）ができる仕組みづくりを

※今後どうすべきか

ため、

する。

【まちづくりの方向性】

子育て

※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

萎縮せずに子育てできるようにする

※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

集合住宅や公園などでの子どもの声、公共交通機関でのベビーカー利用など、子育てへの寛容さを求めるよう広報

※今後どうすべきか

ため、

する。

【まちづくりの方向性】

・子どもを育てやすい環境整備

【基本的取組】

・安心して子どもを産み、育てられる基盤づくりとして、公共と民間が連携した施設整備・サービスの展開を促進する。

・子育てにおける精神的負担を和らげるため、子どもの声や公共交通機関でのベビーカー利用など、子育てへの寛容さを求めるよう広報を進める。

【まちづくりの方向性】

「通いの場・交流の場」

※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

「子どもがいる家族，高齢の方，障がいがある方など，あらゆる方が安心してつなぐることができる場を作る」

※まちづくりの方向性の実現に向けて，何のために

ため，

「魅力ある施設・公園等の整備を」

※今後どうすべきか

する。

【まちづくりの方向性】

観光

※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

街自体を観光資源にする

※まちづくりの方向性の実現に向けて，何のために

ため，

鬼太郎ひろばのように新たに設置するものだけでなく，既存の設備等についても
例えば，歩行者用信号機の人シルエットを，青＝鬼太郎，赤＝目玉のおやじにする，
下石原八幡神社の軒下に猫娘のオブジェを設置するなど，街自体を装飾

※今後どうすべきか

する。

※過去の議論から引用

【まちづくりの方向性】

・市民が集う魅力ある交流の場・施設をつくり，それを観光資源としても活用する。

【基本的取組】

- ・遊び方を限定しない，繋がるための仕掛けがある公園をつくる。
- ・子ども，子育て世代，高齢者など，様々な人が使える，汎用性の高い公園をつくる。
- ・（歩行者用信号機の人シルエットを，青＝鬼太郎，赤＝目玉のおやじにする，下石原八幡神社の軒下に猫娘のオブジェを設置するなど）既存の設備を活用し，まち自体を装飾することで，魅力ある交流の場を演出する。

【まちづくりの方向性】

青少年健全育成
※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

全ての市民の憩いの場を作る
※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

居場所事業を拡張
※今後どうすべきか

ため、
する。

【まちづくりの方向性】

18歳以上の居場所
※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

CAPSも18歳までだが、それ以降、20代前半くらいまでは、孤独になったり、つながりが持てない青年もいる。青年の居場所や交流、相談の場が必要
※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

18歳以上のCAPSのような**居場所**をつくる。
※今後どうすべきか

ため、
する。

【まちづくりの方向性】

スポーツ等を通じた地域交流・学習機会
※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

若者（19歳～）の支援を充実させるため
※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

対象事業を実施する団体への助成，必要な人に情報が行くようなPRを
※今後どうすべきか

ため、
する。

【まちづくりの方向性】

青少年健全育成
※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

調布で多分野で活躍できる**人材を生み出す**
※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

公営・民間の垣根を越えた**人材育成事業・就労支援**を展開
※今後どうすべきか

ため、
する。

【まちづくりの方向性】

居場所
※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

大学生世代の孤立を防止する
※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

より身近で**参加しやすい地域のコミュニティ・居場所**を整備
※今後どうすべきか

ため、
する。

【まちづくりの方向性】

- ・（18歳以上も対象とした）**青少年の居場所づくり**

【基本的取組】

（「孤独・孤立を防ぐため」の視点を入れる？）

- ・ **中高生だけでなく、18歳以上の世代**でも身近に、**参加しやすいコミュニティ・居場所づくり**を促進する。
- ・ **多分野で活躍できる人材を調布で生み出す**ため、**居場所事業を拡張し、人材育成・就労支援**を展開する。

【まちづくりの方向性】
多様性
※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

多様性理解促進の
※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

ため、

障がい全般、ひきこもり、LGBTQ
等に対してインクルーシブな取組
を拡充
※今後どうすべきか

する。

【まちづくりの方向性】
多様性に関する教育
※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

あらゆる個性への理解を促進
※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

ため、

個性がより認められる教育体制を整備
※今後どうしていくか

する。

【まちづくりの方向性】
多様性
※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

様々な問題を抱える当事者への理解を促進する
※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

ため、

同性婚のような当事者をサポートする制度の整備や、
インクルーシブ教育など多様性理解につながる機
会創出を促進
※今後どうしていくか

する。

【まちづくりの方向性】
より豊かな障害理解教育
※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

義務教育で行われている、車椅子やアイマスク体
験等、従来の障害理解教育だけでなく、障害のある
人と一緒に過ごす機会を増やす
※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

ため、

例えば、一緒にブラインドサッカーをして視覚障害の
かたが自分たちよりずっと上手だということを知る、
など、小さい頃から交流の体験をする。支援する対象、
でなく、一緒に同じまちで生きていく仲間としての付
き合い方を知っていく
※今後どうしていくか

する。

【まちづくりの方向性】
多様性
※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

様々な問題を抱える当事者への理解を促進する
※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

ため、

まずは子供たちそれぞれの個性を大事にするような教
育を
※今後どうしていくか

する。

【まちづくりの方向性】

- ・ 個性，多様性を受け入れ，共に支え合う地域づくり

【基本的取組】

- ・ あらゆる個性の理解促進を目的に，子どもの頃から他者との違いを分かり合える交流機会や教育体制を整備する。
- ・ 障害への理解をより深めるために，インクルーシブな取組・教育はもとより，障害のある方との交流を増やしなが，それぞれの個性を尊重した取組を拡充する。
- ・ 当事者への理解を促進するため，多様性理解につながる機会を創出する。

【まちづくりの方向性】

弱みを強みにかえていける機会と場

※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

困っている人を一方的に強い人が支援するのではなく、困った経験（弱み）が似た状況の人を助けること（強み）になりうる。弱みを強みにかえ、困っていた人が誰かのために役立つ機会を得られる場所をつくりたい

※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

相談機関には、**当事者**相談員・当事者サークルのよ
うな機能をもたせ、似た立場の人同士が知り合え、
体験談を共有できるようにする。

※今後どうすべきか

ため。

する。

【まちづくりの方向性】

・弱みが強みになることをみんなで共感し合い、お互いの存在価値を創り出せる環境づくり

【基本的取組】

・ひとりひとりの能力が発揮できることを目的に、課題を克服できるよう**当事者同士が知り合え共感**できる場をつくる。

【まちづくりの方向性】

地域で気軽に子育て相談できる場所

※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

コロナもあり、子育て中の人仲間をつくれる機会が減っている。また、役所やすこやかに改めて相談にいかなくても身近な地域で気軽に相談できる場があるといい

※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

児童館を子育て包括支援センターにする

※今後どうすべきか

ため、
する。

【まちづくりの方向性】

誰も取り残さない情報伝達や相談体制

当事者にとって有益な情報を確実に伝えていく

ニーズに合った情報発信はもとより分かりやすい伝達手法を検討し、また、当事者視点での相談体制を構築し、支援につなげる

ため、
する。

【まちづくりの方向性】

地域住民・当事者同士が自然に支え合える環境づくり

様々な機関による相談体制を整えるだけでなく、地域での繋がりを強める

住民が集う場での交流機会を増やす

ため、
する。

【まちづくりの方向性】

- ・誰もが気軽に相談できる環境づくり
- ・ひとりひとりに「伝わる」情報が豊かなまちづくり

【基本的取組】

- ・地域で気軽に相談する機会をつくることを目的に、子ども・子育て施設の機能を充実するほか、住民が集う場での交流機会を増やしていく。
- ・当事者に有益な情報を確実に伝えていくため、ニーズにあった情報発信手法や分かりやすく「伝える」工夫をする。

【まちづくりの方向性】
 通常級・支援級の壁のない教育体制（交流）
※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

日常的に、通常学級と特別支援学級の子どもたちが心理的な壁をとりはらい、一緒にかかわりあってすごせる機会が必要である
※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

学年の壁を越えた縦割りグループの活動を行う。そこに特別支援学級の子どもも入れ、障害のあるなしにかかわらず、高学年が低学年と、障害のある児童の出来ない部分をサポートし、一緒に遊ぶためにはどんな遊びや活動が適切か、役割やルールをどうするか等、子どもたちが工夫するような機会を増やす
※今後どうすべきか

ため、
 する。

【まちづくりの方向性】
 福祉
※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

当事者と他者との関係性を考える
※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

福祉教育カリキュラムを充実
※今後どうすべきか

ため、
 する。

【まちづくりの方向性】
 生徒一人一人へ向き合った対応
※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

困難を抱えた児童・中高生・大学生世代の課題の解決の
※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

いつでも相談ができる居場所づくりの拡充
※今後どうすべきか

ため、
 する。

【まちづくりの方向性】
 ・ともに関わり合える、心の壁のない教育体制づくり
 ・生徒ひとりひとりに向き合い課題が解決できる相談・居場所づくり
 【基本的取組】
 ・年齢差，能力差，障害の有無などに対する心理的な壁を感じることがないように，様々な背景の子ども同士が，一緒に相互理解について考える機会を教育の場で増やす。
 ・生徒ひとりひとりを尊重し合うことを目的に，過ごしやすい環境づくり，認め合い支え合える教育環境をつくる。
 ・困難を抱えた児童・中高生等若者の課題解決を目的に，いつでも相談できる居場所づくりを拡充していく。

【まちづくりの方向性】

デジタル化

※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

コロナ禍で減少した交流の機会を増やす

※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

行政・相談機関・地域コミュニティなどあらゆる場面で手続きや既存の手法をデジタル化

※今後どうすべきか

ため、
する。

【まちづくりの方向性】

デジタル化

※第4回・第5回で議論した「強み」・「弱み」のグループ

広く市民の声を集める

※まちづくりの方向性の実現に向けて、何のために

市報でパブリックコメントなどを募る際には必ずQRコードも載せる、SNS、LINEの公式アカウントなどでも、パブコメに限らず常時意見を受け付けるなど
手間なく、気軽に声を伝えられるような仕組みを整備

※今後どうすべきか

ため、
する。

【まちづくりの方向性】

- デジタル化による、市民に身近な市役所づくり及び地域の中でより気軽に交流できるまちづくり

【基本的取組】

- コロナ禍であっても誰もが交流・参加しやすい環境をつくるために、デジタル化を進め、あらゆるニーズに対応していく。
- より多くの声を聞くことを目的に、デジタル技術を活用し、手間なく気軽に声を伝えられるような仕組みを整備する。